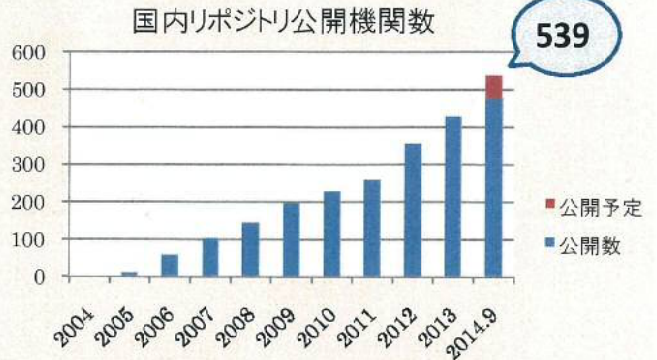


機関リポジトリの普及

2014年9月現在、国内のリポジトリ公開機関数は公開予定も含めて539あり、世界でもトップの機関リポジトリ数となっています。増加の背景には国立情報学研究所(NII)による構築支援事業の実施や、博士論文のインターネットによる公表義務付けという学位規則の改正等があります。

学術研究成果の流通の促進やオープンアクセスの意義を高めるきっかけとなった機関リポジトリの構築ですが、本文公開を認めない学協会の存在や研究者の登録意識の低さから、外枠だけで中身の充実に至らないという悩みを抱える機関が多いのも現状です。



参考：http://www.nii.ac.jp/irp/event/2014/OA_summit/

登録者にインタビュー

今号は教養教育センター生物学科の松政先生をご紹介します。先生は平成23～25年まで分館長として、リポジトリのスタートに際しても大変ご尽力いただきました。学術論文も登録されましたが、登録後の反応は、リポジトリで論文を見た海外の研究者から内容について数件問い合わせがあったとのことです。リポジトリの現状と今後の課題については、情報を提供する側(登録者)、受け手(特に学生・若手研究者)、大学側それぞれにあるメリットを考えると、大学の評価という点に本学はまだ行きついていない、今後は教育に関するコンテンツも増やしていくとよいのではないかというご意見でした。教員は、公開の可否(著作権)を意識して資料を作成し、情報を共有・活用していく仕組みができればコンテンツも充実するだろう、使う側のメリットを高める工夫が必要だとのこと、リポジトリ広報にとっても貴重なご意見をいただきました。インタビュー前に論文の閲覧状況を確認したところ、思いのほか教養年報にもアクセスがあり驚いた、過去の眠っていた論文や古いデータが活用されるのであれば面白いですね、というお話もされました。居心地の良い研究室で、時に雑談を含めながらの楽しいひと時・お忙しい中ありがとうございました。



第4回 マグネット

2014年11月～2015年2月の4ヶ月間のMVP発表!

【閲覧数】清野幸男先生(口腔保健育成学講座准教授), 矯正歯科治療における顔面シミュレーションの変遷; 岩手医大歯誌, 2010

【ダウンロード数】鈴木哲也先生(当時歯科補綴学第一講座教授), 摂取可能食品の調査による咀嚼能力の評価; 岩手医大歯誌, 2007



吹き出しに自由に書き込みができるマグネットを差し上げます!

めいちゃんモコモコ日記

3月3日: 春は桜のポシュエットが欲しいな～
♪サクラサク 今年はどうな出会いある
楽しみに待つ あなたの論文♪ (めいちゃん心の短歌)



発行：岩手医科大学附属図書館

E-mail：repo@j.iwate-med.ac.jp

TEL：019-651-5110(ダイヤルイン) (内線)内丸本館 2303, 矢巾分館 5360

《IRコラム》

学術雑誌公開支援事業終了

国内の大学等が発行する研究紀要等の学術コンテンツ登録システムは、国立情報学研究所が主体となり平成14年度より進められていましたが、平成28年度をもって終了することとなりました。蓄積されたコンテンツは「CiNii Articles (日本の論文をさがす) <http://ci.nii.ac.jp/>」を通じて広く利用されていますが、今後は各機関のリポジトリでの公開に移行されます。

尚、機関リポジトリに登録することにより、上記のCiNii Articlesによる検索も可能となるため、“学術雑誌公開支援事業”を通じた公開と同様に幅広いアクセスが保証されています。

参考：<http://www.nii.ac.jp/nels/>